

-----**会 議 報 告**-----

事業名	新型コロナウイルス対策本部会議（第2回）		
日時	令和2年2月19日（水）14：00～	場所	本庁2階 大会議室
出席者	【三役】（副本部長）神里敏明、（副本部長）知念優		
	【総務課】金城満、小久保栄太郎、		
	【観光産業課】尾崎憲男		
	【民生課】新垣聡、神田沙也加、尾崎リサ		
	【会計課】宇野昭子		
	【教育委員会】小嶺国土 【渡嘉敷診療所】山城啓太 <span style="float: right;">（計11名参加）</span>		
会議内容	<p>◆ <b>各部の取組状況について</b></p> <p>1. 総務課：本島への患者移送について保健所に問い合わせ中。 消防団の備品状況確認。</p> <p>2. 観光産業課：観光協会、商工会会員へ資料の配布。</p> <p>3. 民生課：放送、広報へ掲載。各関係機関へ資料の配布。</p> <p>4. 教育委員会：学校へ資料の配布。</p> <p>◆ <b>情報提供について</b></p> <p>県から各関係機関へ新型コロナウイルスに関する情報が送付されるが、今後は各部長に最新情報をメールで送付し、部長から各部員へ情報提供を行う。</p> <p>◆ <b>医療体制について（診療所）</b></p> <p>各離島の状況を医療センターへ報告していて、不確定要素が多いと話に出ていた。病院、県、保健所でそれぞれ情報にバラつきが有る。国からの指針が沖縄県や離島に即した方法では無いことから、方針を合わせるために時間がかかっている。</p> <p>県とメッシュは協定を結んでいて、海上保安庁も協力可能である。ただし、重症化で海上保安庁に依頼して移送する場合は、医療従事者が同行していないため、村から看護師又は医師が同行することになる。その間、村内で起きる急患対応が手薄になるため、自衛隊ヘリでの対応をお願いしたい。</p> <p>◆ <b>懸案事項について</b></p> <p>1. 交流の家と情報共有するべきではないか。 ⇒搬送手段が決まり次第、伝えていく。また、今後の会議について交流の家へ参加を促す。</p> <p>2. 高齢者と持病持ちの方が、感染しないよう取り組むべきではないか。 ⇒デイサービスや高齢者の集まりを控える規制もないので、村の判断で実施することとなる。今後状況や方針が変わった場合には、制限する可能性もある。</p>		

3. 座間味の状況を確認したところ、下記の内容で決定している。

【隔離場所】座間味（保健指導所）、阿嘉（ターミナル2階）

【移送】フェリー（ペット室）、ライナー（妊婦さん等が利用する部屋）

【移送車輛】福祉車輛を専用車輛として固定

◆ **今後の確認事項について**

1. 感染者の隔離場所、移送車輛を検討（各課確認）

2. 本島への移送手段方法（県より指針が出て決定する）

◆ **次回開催日程について**

県より離島の指針が示されてから開催する。